

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ルピナス教室			
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和8年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和8年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団療育を用意しており、課題等に応じて組み合わせが可能である	個別療育と小集団療育、それぞれにおいて伸ばしたいポイントを意識して療育の方を進めている。	ルピナス内での課題だけに目を向けるのではなく、園やご家庭等での困り感においてもお聞きし、この2つの療育方法で向き合っていきたい。
2	日々の活動内容(プログラム)が固定化せず、様々な活動を提供できるように工夫をしている。	スキヤモンの発育曲線(神経系)を意識し、将来の可能性が広がるような様々な活動を提供している。活動によっては継続的な支援も必要なので、そのバランスは考えて支援を進めている。	今まで立案は常勤職員中心だったので、来年度は非常勤職員含めた全職員で立案し、よりよい活動を提供していきたい。
3	市の療育相談センターや他事業所とのつながりがある	・市の療育相談センターとは研修だけでなく、テストケースとして一緒に保育所等訪問に伺ったりしている。困り感のあることに対して相談をさせていただくこともある。 ・保育所等訪問の情報共有を他事業所とさせていただく等の繋がりを持っている。	市の児童発達支援センターとのつながりが薄いので、来年度は市の児童発達支援センターとの連携を深めていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・研修機会が不十分である。 ・またスキルアップする機会が不十分である	昨年度よりも内部の研修を充実させた。またオンラインセミナーを活用して研修の機会を設けた。外部の研修にも参加した。しかし、機会としてはまだ不十分とみており、常に成長を続けるためには、もっと研修の機会を設けるべきと考える。	会社として、内部の研修については年間計画をしっかりと作成し、実施する。またオンラインセミナーや外部研修の促しをする。時間を設けられるように工夫をする。
2	保護者会や家族支援プログラムなどが不十分である	・保護者会等が開催できていない。 ・保護者への助言等は行っているが家族支援プログラムとしては不十分である。	・来年度は保護者会もしくは保護者同士の交流の場を設けていきたい。 ・日々の活動をもっと気軽に見に来れるような環境を作っていきたい。
3	情報伝達、情報共有のシステム化	・保護者からの評価の通り、情報伝達が上手くいかない時があった。 ・また、その他情報共有をする際にも、出勤回数の少ない非常勤職員まで行き届いていない時があった。	・情報伝達に関しては、方法等をしっかりと確立した上で漏れがないようにしていければと考えております。 ・情報共有に関しても、以前取り組んでいた情報共有の為のファイルを活用して、出勤時にはそのファイルを確認する意識付けをして、情報共有のムラをなくしたい。